第３次真庭市生涯学習基本計画　体系図

本計画の方向性	学習の目的	推進の方向	推進体制	事業	具体的な施策	総合計画の目標

本計画の方向性： あそぼう　まなぼう　仲よく元気で　幸せ真庭

学習の目的：
- 自己の趣味や教養を高める学び
- 社会的自己実現を目指すキャリア形成のための学び
- 成果の還元を通じて地域の活性化に寄与する学び

推進の方向：
- 地域学習への関心を高め、一人ひとりの個の充実を図る
- 地域の魅力を再認識し、地域の力を高める多様な学習機会の提供
- 市民と行政との連携・協働による学習機会の創造
- 生涯学習を生かした持続可能な地域づくりの推進
- 人材を生かす場の設定と体制づくり

推進体制： 生涯学習の推進

事業：
- 人財バンク
- 学習データバンク
- 学習情報の提供
- 学習相談窓口の設置
- 学習指導者の発掘・育成
- 多様な学習機会の創設
  - 学習環境に応じた機会づくり
  - 多様な主体との連携・協働
  - 地域・社会への還元の場づくり
  - 世代を意識した学習機会の提供

具体的な施策：

啓発活動
- 広報紙「広報真庭」による啓発
- 生涯学習情報紙による啓発
- 真庭ひかりネットワークによる啓発
- 真庭市ホームページの活用
- 生涯学習講演会

学習情報の提供
- 広報紙「広報真庭」による情報提供
- 生涯学習情報紙による情報提供
- 真庭ひかりネットワークによる情報提供
- ポスター・チラシによる情報提供
- 真庭市ホームページによる情報提供
- 各施設内の掲示板などによる情報提供
- 新聞・テレビなどによる情報提供

学習機会の提供
- 公民館、図書館などの新規講座及び各種イベント
- 公民館、図書館などで活動するグループや団体の紹介
- 生涯学習交流事業（各公民館の相互交流、出前教室等）
- スポーツ推進委員によるスポーツ体験イベント
- 地域創造等文化活動支援事業による講演会・演奏会
- 地域の活性化や課題解決につながる講演会・研究会
- 他の行政機関などによる講座・講習会
- スポーツ施設、スポーツクラブの企画イベント
- 地域組織や民間団体との連携による講座・学習会・研修会
- 企業などとの連携による講座・講習会・体験イベント
- 学術学会や研究会などの誘致
- 公共放送などを活用した講座

学習成果の発表と活用
- 各地区での文化祭や体育行事の開催
- 部門別展示会・競技大会の開催
- 真庭いきいきテレビの活用
- 学習成果の還元による活動の場の提供
- 地域づくり活動ボランティアの育成
- 学校支援ボランティアの育成
- 放課後児童クラブ・放課後子ども教室などのボランティア育成
- 学習成果を生かす場としての公民館機能の充実
- 地域づくりの学習拠点としての公民館機能の充実
- 施設ボランティアの活用

郷育の推進
- 文化施設、博物館、資料館などの特色を生かした事業
- 博物館などによる展示会の開催
- 生涯学習施設の理想に向けての協議と整備・改善の検討
- 地域の特色を生かしたスポーツ教室などの実施
- 地形・植生・生物観察などの自然観察会
- 年中行事を継承する事業の実施
- 歴史講座・史跡探索会などの実施
- 伝統芸能や技術を伝承する事業
- 市民との協働による地域教材の開発
- 地域特産物などの生産体験
- 郷土料理・特産品などの料理教室及び試食会

総合計画の目標： 真庭ライフスタイル～多彩な真庭の豊かな生活

幼少年期 0歳～9歳	学習課題：豊かな体験 ＝家族・近所とのふれあいが中心の時期 ・真庭市の豊かな自然を体験し、自然を愛する心を育む
少年期 10～18歳	学習課題：自立期（人間的・社会的） ＝コミュニケーション力を身に付け、さまざまな交流体験活動を広げる時期 ・様々な体験活動を通じ、様々な人とのつながりを広げる
青年期 19歳～29歳	学習課題：価値観・人生観の確立 ＝真庭市の持つ情報を分析し、発信性に注目する時期 ・様々な活動やボランティアなどを通し、様々な人の人間関係をより深く広げる
壮年期 30歳～49歳	学習課題：人として立つ ＝自己が確立され、社会に人として立つことが可能となる時期 ・地域のコミュニティ活動の推進役としてのリーダーとなる ・職業能力を高める ・家族を支え、子育てに励む
熟年期 50歳～69歳	学習課題：生きがいの成熟と蓄積の社会還元 ＝自分ができることで地域に貢献する時期 ・セカンドライフを豊かに過ごす ・これまでに得た知識や技術を地域に還元する
寿年期 70歳～	学習課題：よりよい人生を完成させる ＝社会に恩返しをするための積極的な活動の時期＝ ・持っている知識や技術を各世代に伝える ・健康で生きがいを持ち、安心して暮らす

真庭市の歴史・文化・自然・産業などを知る